ムトウビレー小

一二揚



一、清か月見りば　覚い出すさー昔
　語らたる浜ぬ忘り苦りしさー
　忘り苦りしさー

二、たといままならん二人がなかやてん
　何時か慰みに　行逢て見欲しやー
　行逢て見欲しや

三、里が言るままに　語れぶさーあしが
　もしか口端に掛からばちゃすが
　掛からばちゃすが

四、義理恥ゆ守てい　肝内に染みてい
　一花ある花や　散りて逸さ
　散りて逸さ

五、花や散りらわん　二人が志情や
　深く思染みて　四季ゆ待たな
　四季ゆ待たな